

諸戸徳成邸特別公開

西 羽 晃

諸戸徳成邸については、しばしば書いてきましたが、5月28、29日に特別公開を行いました。この特別公開は最初は桑名市が主催していました。市民有志による「諸戸徳成邸の保存・活用を考える会」（以下「会」と書きます）を結成して、公開を支えました。私は副代表となり、老後の生き甲斐となりました。そして諸戸徳成邸（以下「徳成邸」と書きます）を桑名市が取得するように働きかけました。昨年2月に桑名市長は「徳成邸」を取得することを発表し、喜びに浸ったのでした。昨年春の特別公開は「会」が主催し、桑名市・桑名市教育委員会は共催として行われました。ところが昨年秋の特別公開に向けて準備中に桑名市・桑名市教育委員会は全面的に撤退しました。特別公開は「会」のみの単独主催になりました。

そして本年2月には桑名市長は前言をひっくり返し、桑名市は取得を断念すと発表しました。毎回『桑名市広報』に開催案内が掲載されてきたのに、今回は掲載を拒否されました。また頼りにしたマスコミは折からのG7サミットのあおりで紙面が少なく、わずかに中日新聞が掲載してくれました。

「会」としては有力な宣伝方法が欠けてしまいましたので、色々と知恵を絞りと、単に公開するだけでなく、何か付加価値を加えることを考え、門前でマルシェを開くことにしました。その他にも「徳成邸」の近隣にチラシをポスティングしたり、ミニコミ誌に掲載を頼んだり、ロコミやフェイスブックで友人・知人に広めてもらったりしました。

予定数は600人ですが、ハガキによる申込み数は締切時点で半数ほどだったのです。その後の宣伝で公開日当日には600人は見込めるほどになりました。ところが、蓋を開けて見てびっくり、ハガキで申し込んでいない人がどんどんと来られて、初日だけで総数は420人ほど。この調子なら600人は十分越すだろうと予期できました。この日は中日新聞・朝日新聞、CTYの取材もありました。

2日目、問い合わせの携帯電話は途絶えることなくかかってきます。前日に増して長蛇の列です。マルシェの中には午前中で売り切れとなり、撤退した店もありました。駐車場はありませんと事前にはお知らせしたので、多くの方は歩いて坂を上って来られるのですが、知らずに自家用車で乗り付けて来られた方多く、Uターンするのに苦勞されました。この日は名古屋テレビが取材し、夕方のニュースで放送してくれました。

最終的な参加者数は

ハガキ受付	当日受付	計
-------	------	---

28日	200	220	420人
29日	164	510	674人
計	364	730	1094人

予定の2倍近い参加者が来られたこととなります。うち29日の当日受付の方は新聞で知った方が殆どのようなものでした。参加者は桑名市内が660人ほどですが、四日市市112人、名古屋市68人など市外も多く、遠方では東京都7人、船橋市、駒ヶ根市、徳島市、倉敷市など各1人です。新聞は三重版ですから四日市市の方が多いは理解できますが、県外の方は何で知ってこられたのでしょうか。口コミやフェイスブックによるのでしょうか。

想定外に多くの方が参加されました原因は下記のように思います。

1. マルシェで集客が増した。
2. 中日新聞・朝日新聞が取り上げてくれた。
3. ご近所の方々のご協力。
4. 「会」員及び協力者がチラシ配布や口コミで広めた。



ともかく、事故もなく、混雑もなく、無事に終了できました。次は12月初めの紅葉の季節に特別公開する予定ですし、それまでも小さな行事を考えています。